

建設業が取り組んでいる交流や広報活動

交流

● 環境イベント



● 現場見学会



● 展示会への出展



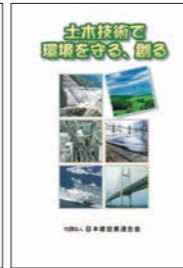
広報

● 環境情報の開示 (CSR報告書、ホームページ)



<http://www.nikkenren.com/kankyoku/>

● 啓発資料の作成、活用



建設業の 環境への取組み



一般社団法人 日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 日本建設業連合会

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内

TEL: 03-3551-1119 FAX: 03-3551-0494 <http://www.nikkenren.com/>



2014年11月

建設業の役割

社会基盤を整備して、社会に貢献しています。

暮らしを支える

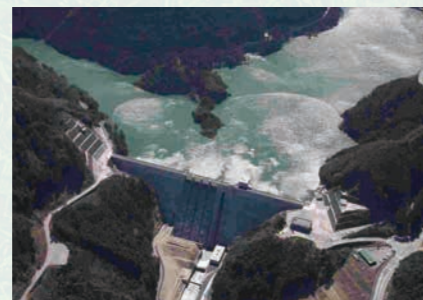
資源を貯蔵、安定供給する

エネルギー施設



水を蓄え、洪水を防ぎ、発電する

ダム



狭い国土を有効利用する

超高層ビル



文化を次世代に引き継ぐ

歴史的建造物の保全



地域をつなぐ

人やモノをスムーズにはこぶ

道路



山や海を貫き地域をむすぶ

トンネル



海や川で隔てられた地域をつなぐ

橋



人やモノを世界へつなぐ

空港・港湾



災害から守る

建物の揺れを抑える

地震対策



川を流れる水の量を調整する

洪水対策



大雨による土砂の流出を防ぐ

土砂災害対策



波や高潮の侵入を防ぐ

津波対策



建物や構造物のライフサイクル

「建設」「運用」「更新・修繕」「解体」。
あらゆる場面で環境に配慮した取り組みを行っています。



建設業の環境への取り組み

建設業は社会の一員として、さまざまな面で環境改善に取り組んでいます。
自然と調和した、より豊かな環境をつくるために、建設業はこれからも挑戦し続けます。

INDEX



地球のためにできること

CO₂排出量の削減

〇現場で削減 〇建物で削減 〇まち全体で削減

06 - 07



資源のためにできること

建設廃棄物の削減

〇発生抑制 Reduce 〇再使用 Reuse 〇再資源化 Recycle

08 - 09



自然のためにできること

生物多様性の保全

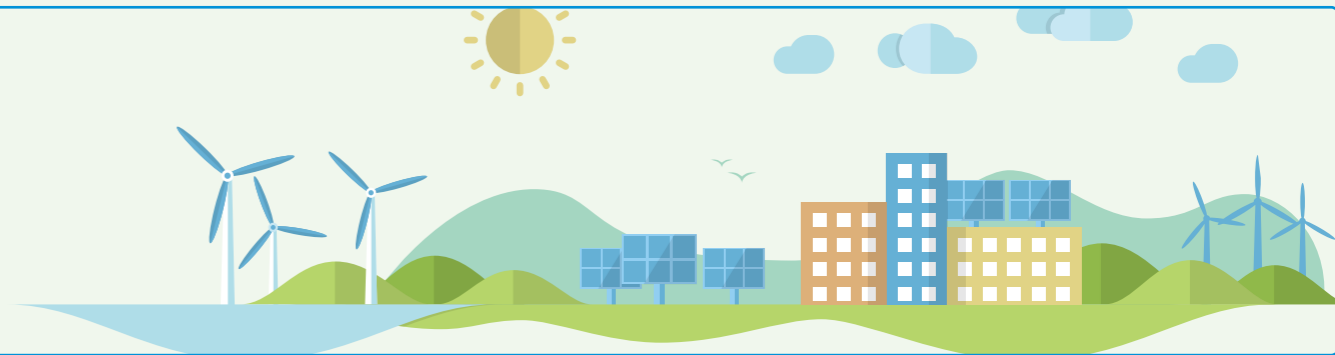
〇海で共生 〇山で共生 〇川で共生 〇まちで共生

10 - 11



低炭素社会

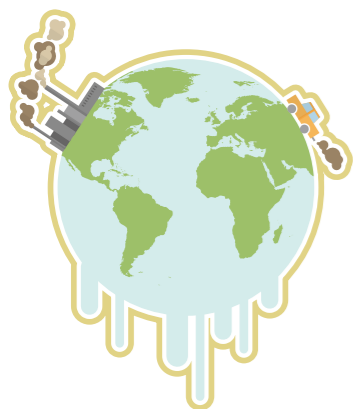
地球のためにできること



背景

建設業の解決策

CO₂排出量の削減



地球温暖化

地球温暖化に大きな影響を与えているCO₂。建設業では施設の施工、運用、改修・解体などあらゆる場面で排出しているCO₂の削減に努めています。そのため特に施工では業界で目標を設定し、新しいエネルギーや技術の開発を進めています。

現場で削減



省燃費運転

施工現場で発生するCO₂排出量の約7割が軽油によるものです。その対策として、トラックダンプや建設機械における省燃費運転の普及を目指しています。



低燃費型建設機械

省エネ型・ハイブリッド型の建設機械を積極的に採用することにより、建設現場全体でCO₂排出量の削減に努めています。

建物で削減



ゼロ・エネルギー・ビル

省エネ設備の開発・導入や再生可能エネルギーを活用し、建物のライフサイクルを通したエネルギー消費量ゼロの実現に向けて取り組んでいます。

まち全体で削減



提供：スマートシティ企画株式会社

スマートシティ

平常時における節電・省エネ対策に加え、災害時でも事業継続できるまちづくりを行い、災害や環境に配慮したスマートコミュニティを構築します。

TOPICS



● BDF(バイオディーゼル燃料)を建設重機に使用

事業所や家庭で不要となった食用油から、BDF(Bio Diesel Fuel バイオディーゼル燃料)を作ることができます。軽油の代わりとして建設工事で使用する機械の燃料にBDFを採用し、CO₂排出量を削減しています。



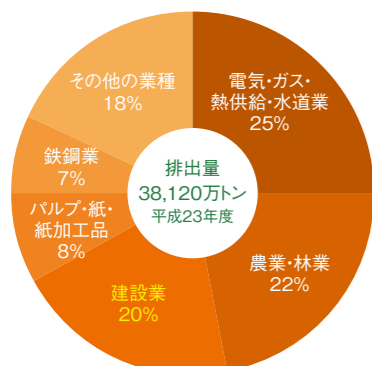
循環型社会 資源のためにできること



背景

建設業の解決策

建設廃棄物の削減



産業廃棄物の業種別排出量 出典：環境省

廃棄物問題

日本の産業廃棄物の中で、建設業は約20%の廃棄物を排出しています。資源の有効利用や3R※を行ってきました。建設業は循環型社会の実現に向け、適正な処理ならびに建設廃棄物の削減とリサイクルを一層推進します。

発生抑制 Reduce



無駄な資材の排除・分別

鉄筋・型枠工事では、加工場でプレカットしたものを現場に搬入することで端材の発生を抑制したり、梱包材の簡略化を行って廃材を削減しています。また、最終的に埋立て処分するしかない混合廃棄物を極力減らすため、廃棄物は現場で分別し、さまざまな処理施設に搬出しています。



再使用 Reuse



資源の再使用

プラスチック型枠やリターナブル容器（材料等の運搬）など、再使用可能なものを採用することで、排出する廃棄物を少なくします。

再資源化 Recycle



徹底したリサイクル

現場で発生した副産物を使用して質の高いリサイクルを徹底しています。一度使った資材が別のかたちになり、再生利用できるようになります。

TOPICS



● 災害廃棄物処理と徹底した分別による再生利用の実現

東日本大震災により発生した膨大な災害廃棄物の処理の委託を市町村や県から受け、処理業務を推進しています。災害廃棄物の8割強、津波堆積物のほぼ全量を再生利用しました。(写真は宮城県石巻ブロックの処理状況)



自然共生社会

自然のためにできること



背景

建設業の解決策

生物多様性の保全



生態系への影響

建設業は国土資本や社会整備等、現場でのものづくりにおいて、自然との係わりが極めて深く、従来から生態系や自然環境への配慮を行ってきました。生物多様性の保全が重視されるなかで、建設業はさらなる技術開発やその普及・PRを推進しています。

海

で共生



カニ護岸

コンクリートパネルにカニが歩けるような凹凸と、隠れ家としての深目地を入れ、食物連鎖の中心となるカニのすみかを提供することで海の環境を整えます。

山

で共生

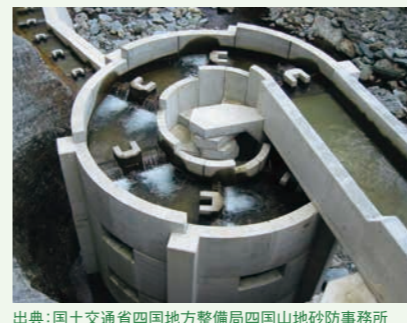


アニマルパスウェイ

道路によって分断された森を一体化する、小動物専用の橋です。森と森をつなぐことで動物たちは安全に行き来でき、エサの確保や繁殖を保護しています。

川

で共生



出典：国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所

魚道

サケ・マス・アユなど回遊する魚類にとって遡上の妨げとなるダムや堰。魚の通り道を設置することで、自然繁殖の保護を行っています。

まち

で共生



ビオトープ

主に都市域の建築物の外構・屋上・壁面に緑化したり水辺空間をつくることで、昆虫や鳥類など多くの生物が生息できる環境づくりを行っています。

TOPICS



オオタカ等の猛禽類に配慮した施工

生態系保全是建設事業の大きな責務です。オオタカなど希少猛禽類への影響を極力抑制するため、建設業では計画段階から営業活動への配慮を行い、作業中も車両や作業員の出入りを工夫するなどして、計画地への影響だけでなく地域の観点からも影響を考慮しています。